

## 令和3年度病害虫発生予報第7号（10月）

令和3年10月1日  
愛知 県

### 普通作物

#### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
ダイズ	吸実性カメムシ類	やや多い	県全域	9月下旬の発生量は平年並 9月下旬の水田におけるミナミアオカメムシの発生量は平年並 10月の気温は高い	± ± +

#### ・防除対策

##### 〔ダイズ・吸実性カメムシ類〕

ダイズの吸実性カメムシ類の発生量は平年並ですが、一部地域で多発生のほ場が確認されています。また、今後収穫後の水田からダイズほ場へ移動し、加害する可能性があります。ほ場におけるカメムシ類の発生状況をよく確認し、適宜防除を行いましょ

#### ・留意事項

イネ白葉枯病の病原菌は、被害わらやもみで越冬し、次作の発生源となります。また、ニカメイガやイネ縞葉枯病を媒介するヒメトビウンカは、水田畦畔の雑草やひこばえで越冬します。越冬量を減らすため、収穫後の耕うんを始めとする、秋冬期管理を実施しましょ

県内のダイズほ場に設置したフェロモントラップにおいて、ハスモンヨトウの誘殺数はおおむね平年よりもやや少なく推移していますが、長久手市に設置したフェロモントラップにおいて、9月上旬に誘殺数が急増しました。さらに、9月下旬のダイズにおける巡回調査では、ハスモンヨトウの寄生株率は過去8年で3番目に多くなっています。名古屋地方気象台9月30日発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高い見込みで、チョウ目害虫の発生に好適な条件が続きます。ほ場全体を注意して見回り、発生を確認したら、適宜防除を行いましょ

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
キャベツ	コナガ	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘 殺数は平年並	± ±
	シロイチモジ ヨトウ	やや多い	県全域	9月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘 殺数はやや多い 10月の気温は高い	± + +
	ハイマダラノ メイガ	やや多い	県全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の気温は高い	± +
トマト (施設)	葉かび病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	黄化葉巻病	やや多い	県全域	9月下旬の発生量はやや多い	+
	コナジラミ類	多い	県全域	9月下旬の発生量が多い 10月の気温は高い	+ +
イチゴ (施設)	うどんこ病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	炭疽病	多い	県全域	9月下旬の発生量は平年並 7月下旬の育苗ほでの発生量は 多かった 10月の気温は高い	± + +
	ハダニ類	やや多い	県全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の気温は高い	± +
野菜共通	ハスモンヨト ウ	やや多い	県全域	9月下旬のキャベツにおける発 生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘 殺数はやや多い 10月の気温は高い	- + +

#### ・防除対策

##### 【ハクサイ、キャベツ・ハイマダラノメイガ】

成長点部分を食害されると、正常な結球が望めなくなるため、幼虫の寄生が確認されたら、速やかにエルサン乳剤やディアナSCなどで防除しましょう。

##### 【キャベツ・オオタバコガ】

オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数はおおむね平年並ですが、気温が高くなると予想されており、本種の発生に好適な条件となりますので注意しましょう。防除対策については8月3日発表の「オオタバコガ情報第1号」を参考にしてください。

##### 【キャベツ・シロイチモジヨトウ】

8月17日発表の「令和3年度病害虫発生予察注意報第8号」を参照してください。

##### 【トマト・黄化葉巻病、コナジラミ類】

本日発表の「コナジラミ類情報第1号（トマト）」を参照してください。

##### 【イチゴ・炭疽病】

7月下旬の巡回調査（育苗ほ）では発生量が多い状況でした。発病株や隣接する株は速やかに抜き取って、ほ場外に持ち出し、適切に処分しましょう。また、8月3日発表の「令和3年度病害虫発生予察注意報第7号」を参考にしてください。